

自己評価表

(愛媛県立西条高等学校校定時制)

学校番号(9)

教育方針	人格の完成を目指し、国家及び社会の有為な形成者として、文化の創造と発展に寄与する人間を育成する。	重点目標	自分を愛し、他者を愛し、一歩踏み出せる人材の育成		
領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習成績年間平均点80点以上が10%以上 漢字テスト年間平均点90点以上 A: 60%以上 B: 50%以上60%未満 C: 40%以上50%未満 D: 30%以上40%未満 E: 30%未満 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習成績年間平均点80点以上24% 漢字テスト年間平均点90点以上は53.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も同じ目標値で取り組ませたい。 漢字テストは欠席をすると0点となるため、まずは登校してテストを受けること、さらには漢字を苦手とする生徒への支援が必要である。
	資格取得の奨励	<ul style="list-style-type: none"> 在学中の各種資格3級以上の取得者 A: 70%以上 B: 60%以上70%未満 C: 50%以上60%未満 D: 40%以上50%未満 E: 40%未満 	C	<ul style="list-style-type: none"> 3級以上の資格取得者は1年次0%、2年次42.9%、3年次75.0%、4年次83.3%である。全体として58.6%と目標を達成することはできなかったが、より上級の資格を取ろうとする意欲は高まってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの資格を取得している者がいる一方、挑戦することに踏み出せない者もいる。また、低学年は5級や4級から挑戦するため、年1度の受験では3級取得までたどりつけない。校内で受験できる機会を数度設けるなどの改善を図りたい。
生徒指導	出席率の向上	<ul style="list-style-type: none"> 年間出席率 A: 95%以上 B: 90%以上95%未満 C: 85%以上90%未満 D: 80%以上85%未満 E: 80%未満 年間の皆勤者と精勤者の合計 A: 15人以上 B: 10人～14人 C: 7人～9人 D: 4人～6人 E: 3人以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年間出席率は92.5%(3月10日現在) 年間の皆勤者と精勤者の合計は11人(3月10日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校時不登校だった生徒が多いことを考えると出席率は高いと言える。しかし、新型コロナウイルス感染症対応として、発熱等は出席停止となっており、その影響で簡単に欠席する環境が生まれ、長欠の生徒が増えている。家庭との連絡を密にし、一層の生徒理解に努め、学校へ行くのが楽しいと思える環境づくりを進めていきたい。
	生徒理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が、一人の生徒に対して一日に一度以上声掛けをして生徒理解に努め、自己肯定感高揚の一助とする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 登校指導や職員室内にロッカーと自習スペースを設置していることで、言葉掛けは十分できている。特に1年生は表情の変化から、自己肯定感はまだ低いものの、徐々に高まっていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期初めの面接週間を来年度も設ける。また、特別支援教育校内委員会を定期的に開催し、生徒情報の共有を図り、家庭や関係諸機関との連携も深めたい。
	交通安全の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 始業30分前より校門前及びその周辺で、交通指導を実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、2～4人の教員が校門前で登校指導を行い、交通指導と言葉掛けを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎してきた保護者とも挨拶を交わし、相談にその場で応じることができる。生徒理解・家庭との連携のために継続したい。
進路指導	個に応じた進路保障	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークとの早期からの連携 個々の進学希望に応じた個別指導の充実 卒業時希望進路達成率100% 	C	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時希望進路達成率80.0%(3月10日現在)(4名/5名中)。残り1名は3月中に就職決定が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規学卒求人から能力、条件に合うものを見つけることは難しい。就労経験を積ませたい。進学希望者に対しては小論文指導や、面接指導を組織的に行いたい。
	進路に対する意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスを年間2回以上行い、生徒の進路目標を明確にさせる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を2回、労働セミナーを1回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の1回目と2回目の業者・講師を変えて実施したい。
特別活動	学校行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒生活体験発表大会県大会3位以上入賞 主な学校行事(運動会、球技大会、送別会、遠足等)の参加率がそれぞれ A: 95%以上 B: 90%以上95%未満 C: 85%以上90%未満 D: 80%以上85%未満 E: 80%未満 県総体出場者の数 A: 20人以上 B: 15人～19人 C: 10人～14人 D: 5人～9人 E: 4人以下 	C	<ul style="list-style-type: none"> 生徒生活体験発表大会では県大会出場を果たしたものの、3位入賞はできなかった。 参加率は1学期球技大会78.8%、運動会96.8%、2学期球技大会93.3%、送別会90.0%、平均88.3%である。 新型コロナウイルス感染症の感染不安による出場辞退、ワクチン接種による体調不良の欠席が数人おり、県総体出場数は14人だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度生徒会選挙で初めて生徒会長立候補者が2名立ち、立会演説会を実施した。そして、卒業生を送り出す送別会は生徒会主催で実施した。生徒会活動の活性化により、学校行事の参加率を上げられるよう、生徒と教職員が一体となった取組を目指したい。
業務改善	勤務環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> 仕事内容の精選と効率化を図り、時間外労働時間の短縮を図る。 年次有給休暇が取得しやすい環境づくりに努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 何かないかぎり、定時後10分以内に一斉に退勤している。時間外労働時間は短い。年次有給休暇もしっかり取得できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の目標に加え、来年度はテレワーク制度の一層の浸透と活用により、ワークライフバランスの向上を図りたい。